

【所属名：教育委員会文化振興課（博物館）】
【会議名：糸魚川市博物館協議会 全体会】

☒開示
☐一部開示 (理由: 条例第 条第 号 該当)
☐不開示
☐時限不開示 (開示: 年 月 日)

会 議 録

作成日 令和7年7月10日

日	令和7年7月8日	時間	13:30 ~ 15:35	場所	フォッサマグナミュージアム 研修室
件名	議題1 報告事項1～5 1 令和6年度博物館協議会について 2 入館者数等に関する事項について 3 ミュージアムショップの運営状況について 4 令和6年度博物館諸事業（運営部門）について 5 令和6年度博物館諸活動（学芸部門）について 議題2 協議事項 1 令和7年度博物館諸事業（運営部門）について 2 令和7年度博物館諸事業（学芸部門）について その他				
出席者	【出席者】7人 専門部会：大塚委員、松岡委員、山縣委員 運営部会：関委員、村井委員、平野委員、縄井委員 【欠席者】3人 専門部会：河村委員 運営部会：野本委員、横澤委員 【事務局】7人 竹之内館長、関澤館長補佐、赤野係長、茨木学芸員、小河原学芸員、香取学芸員、郡山学芸員				
	傍聴者定員	- 人	傍聴者数	1 人	

会議要旨

- 開会
館長あいさつ
2点報告したい。
1点目は、委員の交代について、4名の委員が交代となった。2年間よろしく願いたい。
2点目は、ミュージアムの近況について、昨年30周年を迎え、この4月には入館者が200万人を超えた。31年で割り返すと年間64,500人となる。今年度はメインの特別展としてナウマン展を開催した。7月6日までであったが、展示を残してあるので、協議会終了後に観覧いただきたい。
- 会長、副会長の選任
事務局案で会長に大塚委員、副会長に野本委員を提案し、承認を得た。
- 部会の設置について
今年度から、「部会を設置しなければならない」から「必要に応じて、会長が部会を招集できる」

という内容に規則を改正した。

4 協議事項

(1) 報告事項

【事務局】令和6年度博物館事業について資料に基づき説明。

質疑

【委員】R6から小中学生が有料となったが、内訳は？

【事務局】一般が57,146人、小中高生が11,905人有料で入館いただいている。

【委員】入館料の伸びは、子どもを有料とした相乗効果なのか？

【事務局】そのとおりである。

【委員】2ページの資料を見るとR6は子どもが大きく減っているように見える。

【事務局】R5とR6でこども集計の仕方が変わり、R5の表は、未就学児を含むカウントになっており、R6は未就学児を含まないものとなっているため、減っているようになっているが、大きくは減っていない。

【委員】肌感覚でよいが、有料になったことにより、子どもは無料エリアにいることが多いということはないか？

【事務局】一般（大人）が大きく減っているわけでないので、一緒にいる子どもが減っているということはない。

【委員】ミュージアムショップの利益率について、この表し方だと厳密に出ないのではないか。

【事務局】市の歳入、歳出の額で比較しているので、委員の指摘のとおり厳密な数値ではない。年度末に在庫数が多い場合は利益率が下がることになり、R6は在庫が多い状況である。

【委員】資料の中でいつから有料になったのかわかるように示してほしい。また、入館料がいくらなのかわからない。この先検討する際のためにも比べられるようにしてほしい。

【事務局】来年度の協議会資料において表の表し方を考える。入館料の変更とともに、今後の推移を注視していきたい。

【委員】学校との連携が増えている。ジオパーク学習推進の効果がでてきているのかと思う。料金の値上げで市外の子どもの入館がどうなっているのか検証してほしい。

【委員】子どもの減免措置は行っているのか？

【事務局】市内の小中高生への減免は行っている。

【委員】学会における発表内容の評価について好評だったとかのコメント欄があるといい。

【事務局】前向きに検討する。

【委員】文化芸術振興費補助金についてR6の予算規模・内容は？

【事務局】文化庁から採択され、R6は補助額900万円、補助率100%の補助事業でR6、R7の2年間で全国を巡回する移動の経費等に使用している。R5から継続している事業であり、R5は1,400万円の補助を受け、巡回展用の展示物を作成する経費に使用した。

【委員】巡回展は良い取組で、評価が高い。なんらかの形で継続してほしい。

【事務局】展示物は3セットある。巡回展が終われば戻ってくるので活用していきたい。

【委員】世界のフォッサマグナミュージアムになれば良いと思う。アジア圏域でも活躍してほしい。

- 【事務局】ジオパークのアジア世界大会（ベトナム）での巡回展の発表や、ミニ展示も行った。
- 【委員】収蔵についてのデータがある。標本を今後どうするか大きな課題である。
何点あり、何点登録したいのか、今後どうしようとしているのかを日常業務として考えてほしい。
- 【事務局】昨年も同じご指摘をいただいている。整理できていないのが現状である。
- 【委員】大きなところだと専門的な人がいるが、長期的な課題だと思う。
- 【事務局】収蔵施設が不足している。リニューアル時に増設をしたかったが、できなかった。今後は学校の空き教室などの利用も検討している。
- 【委員】館主催以外の講演が増えている背景は？
- 【事務局】公民館、一般企業などから依頼が増えている。
- 【委員】積極的に受けているのではなく、だんだんと広まっているのか？負担ではないか。
- 【事務局】4人で割ると年間60回くらい担当することになる。かなり負担だと思う。
- 【委員】今後も、すべて受けるつもりか？
- 【事務局】市内の小中高等学校、公民館を優先して受ける。野外案内はジオパークガイドに依頼するなど、優先順位を考えてスケジュール調整をしていく。
- 【委員】何らかのルール、やり方を考えていくことも必要。以前から話題になっているが、そろそろ考えていく時期だと思う。
- 【委員】講演会、野外活動の状況は？どのように考えているか。館主催の事業を充実させればどうか。
- 【事務局】新幹線開業以来、入館者も増えている。社会教育の要請も増えている。以前は特別展等を準備する余裕もあったが、今は余裕がなくなっている。その中で博物館の役割も果たしていかななくてはならない。だんだん増えるニーズに対してどうすればよいのか考えていく。
- 【委員】ジオパーク野外講座は定員数に足りているのか？
- 【事務局】定員数に足りていない。PR不足だと思う。
- 【委員】そのあたりをうまく活用すべきだと思う。外からの依頼を中での活動に誘導するような工夫をしてみてもどうか。

（2）協議事項

- 【事務局】令和7年度事業計画について資料に基づき説明

質疑

- 【委員】分析機器の更新は、予算に含まれているか。
- 【事務局】分析機器の更新は予算が付かなかったが、メンテナンス等調整していきたい。
- 【委員】こちらに来る前にフォッサマグナパークを見てきた。えぐられているような箇所もあった。このあたりの管理予算はないのか。
- 【事務局】通常の維持管理費はある。令和6年度は駐車場拡張整備事業があった。
- 【委員】石のガイド養成講座があるが、昨年度受けた人が活躍する場はあるのか。
- 【事務局】石の相談室がある。
- 【委員】学芸員の負担軽減につながるとよいと思う。そういう計画はないのか。

- 【事務局】石の相談室を設けている。今現在ガイドは15名いる。
- 【委員】博物館の紀要についてはどういう計画？
- 【事務局】毎年出刊すべきところだが、現在準備をしている。きちんと発行できるよう努めたい。
- 【委員】これだけ活躍されていて、それが形に残らないのが残念だと思う。
デジタルでもいいので、何らかの形に残せばと思う。
- 【事務局】まずはHPでの公開を目指している。
- 【委員】フォッサマグナパーク保存活用計画策定委員会は実際あるのか？継続している？
- 【事務局】H26にパークのリニューアルの際に発足し、その後も課題があるので継続して、今に至っている。今後の活用等検討する委員会である。
- 【委員】直轄の委員会はこれだけか。
- 【事務局】当協議会とフォッサマグナパーク保存活用計画策定委員会のみである。
- 【委員】収蔵活動は具体性のあるものにしてほしい。
- 【委員】データベース化は新しい取り組み？紙からデータにしているのか。
- 【事務局】そうである。

5 その他

(1) 報告事項(15:20)

- 【事務局】博物館の登録申請について説明

質疑

- 【委員】法律的な担保とはどういうことか。
- 【事務局】博物館法にのっとったものであるかどうかで、支援等が変わることもある。登録博物館としてPRする機会になればと思う。
- 【委員】今回の法改正でどう変わったのかわかりやすく書いてもらおうとよい。
- 【委員】新潟大学には展示館があり博物館相当施設として認定されていた。今回申請し直しという状況である。理学部のサイエンスミュージアムも登録博物館になれるかどうかを検討している。フォッサマグナミュージアムがサイエンスミュージアムを切り離して、サテライトとして一緒に行くことがあり得るのかどうか。
ミュージアムのサテライトとして一体に申請できるとよいが。
- 【事務局】県の担当に確認するが、設置者が別であるため手続きを一つにまとめるのは難しいと思う。
- 【委員】申請手続きの流れがあるが、審査は誰が行うのか？
- 【事務局】県で審査会を立ち上げ、申請手続きの審査を行う。
- 【委員】最終的にどこに登録されるのか？国なのか、県なのか？
- 【事務局】最終的には国(文化庁)の登録となるが、申請手続き等は県が行っている。

5 閉会

以上